

Weekly Report



事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：堀 慎治

幹事：田中 宏

クラブ広報委員長：柳田 篤弘

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ビルトシ名古屋

2021-22年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリークラブを理解し、

瑞穂ロータリークラブライフを楽しもう」

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度

国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

(SERVE TO CHANGE LIVES)

第1984回例会

～ロータリー財団月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2021年11月4日(木) 晴 第16回

司会：鈴木実会場委員

斉唱：「君が代」「奉仕の理想」

ゲスト：近藤茂弘さん 地区資金推進委員会 副委員長

会長挨拶

堀 慎治会長

皆さんこんにちは。当クラブメンバーの今川さんが、三好カントリー倶楽部のクラブチャンピオンになりました。おめでとうございます！2連覇を達成され、今後は更に3連覇4連覇に挑まれ、また当クラブメンバーの長野さんがそれを阻まれる展開を期待しています。セカンドフライトの優勝は当クラブメンバーの渡辺喜代彦さんの次男の亮介さんでした。喜代彦さん優勝パーティーがあるのでよろしくお願いします。



幹事報告

田中 宏幹事

- 11月7日(日)の地区大会は、熱田区の名古屋国際会議場「センチュリーホール」となります。大会の受付は9:30なので、先週メールボックスに入れた待ち合わせ場所9:15位よりお待ちしております。そこで名札と冊子(プログラム)を配布します。

待ち合わせ場所はセンチュリーホール入口近くの階段の1階です。

- 次週11月11日(木)定款により休会となります。
- 次々週11月18日(木)17:00より、福岡西RCをお迎えして金山駅南口のANAクラウンプラザホテルグランコト名古屋にてボジョレーヌーボ例会が行われます。ご出席される方はお願い致します。
- 本日、新会員長野義明さんの会員名簿をメールボックスへ入れました。追加で、名簿に貼っていただきますよう、宜しくお願い致します。

出席報告

新見光治出席委員

会員71名 出席53名(出席計算人数55名) 出席率 84.1%

ニコボックス

新見光治ニコボックス委員

- 11月1日は結婚記念日でした。
本日は、財団委員会として卓話をさせていただきます。
お手柔らかにお願いします。 近藤 茂弘さん
- 三好カントリークラブ選手権優勝することができました。
皆さんから、たくさんの応援のお言葉ありがとうございました。 今川 知也さん
- 昨日は家内の誕生日でした。
素敵なお花をいただき、ありがとうございました。 松田 浩孝さん
- 前回例会は米山奨学生周軒君のインニエーションスピーチをご静聴いただきありがとうございました。 森 裕之さん
- 第7回NOZAKI・CUP川奈ゴルフ会に多勢のご参加有難うございました。
連日好天に恵まれ太平洋の海原を眺めたら豪快なショットを楽しみました。
村上さん優勝おめでとう！特に初日の大島コース13番PAR4でのイーグルは見事でした。 野崎 洋二さん

- ・NOZAKI・CUP in 川奈では野崎さんはじめ、皆さんお世話になりました。

渡辺喜代彦さん 湯澤 信雄さん 関谷 俊征さん
堀 慎治さん 岩田 修司さん 松波 恒彦さん
大嶽 達郎さん 鈴木 淑久さん 原田 敬生さん
鈴木 実さん 本多 誠之さん 長野 義明さん

- ・今川さん、クラブ選手権の連覇おめでとうございます。
いつもラウンドご一緒させていただき、光栄に思います。 杉江 健亮さん

- ・今川さん2連覇おめでとうございます！
杉山 裕一さん 内藤 晶文さん 新見 光治さん

11月誕生日おめでとう

千秋 季頼さん 入江 理さん 宮崎 信次さん
鈴木 雅登さん 森 恒夫さん

卓話

地区資金推進委員会 副委員長 近藤茂弘さん

地区ロータリー財団プログラムについて

地区財団委員会 地区資金推進委員会 副委員長 近藤茂弘です。

RC財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。RC財団の使命と存在意義について、RCの発祥の時代から紹介します。

RCは、1900年代初頭にシカゴで生まれました。シカゴは古くから五大湖からミシシッピ川につながる水軍の拠点として発展していましたが、1890年代に入ると大陸横断鉄道の開通によって更に急速に発展していきました。同時に多く人がシカゴに移り住み、当時のシカゴの人口は約8割が外国からの移住民でした。

このようにシカゴは東部から西部、あるいは南部への従来の拠点でした。そして様々な人々が行き来するにぎやかな場所でした。こうして西へ東へ一攫千金を目指す人々が入り乱れ、商業道徳が乱れていきます。「正直者が損をする」ような、金儲け第一主義の精神が蔓延していきました。そして間もなく1920年代からは、禁酒法の影響などでアル・カポネに代表される、いわゆるギャングが暗躍する街となっていきます。シカゴのダウンタウンの南半島はまだ治安が悪く、そこら中に子供の「当たり屋」がいました。またダウンタウン南側のビルにはアル・カポネの時代の銃弾の跡が複数残っていました。

そのような社会情勢の中で、ビジネスマンにとって「信じられる仲間」「信じられる取引相手」が必要です。そこで「仲間内グループ」という名の「互助会的な組織」がつけられていきます。ポール・ハリスの呼びかけで「仲間内の集まり」として始まったRCもその中の一つでした。当時このような互助会的な組織は沢山ありました。

なぜ沢山あった互助会的な組織の中で、RCだけが生き残り発展したのか？それは一言で言えば、「社会との接点」を持ったからです。元の言葉、英語ではServiceと表現していますが、日本語ではやや硬い「奉仕」と訳されます。奉仕と聞くと、自らほうきを持って行う道路の清掃活動をイメージしますが、私達の奉仕の本質は少し違います。自分達の持つ専門知識や経



験、幅広い人脈など活用してより良い社会作りに役立つことです。

RC発足当時の逸話を紹介します。RCが発足して約1年後の1906年4月にポール・ハリスは特許弁理士ドナルド・カーターに入会を勧めましたが「将来性も魅力もない」と言って勧誘を断ったそうです。しかし、ポール・ハリスは落胆しませんでした。以前から会員間の互恵と親睦のみに終始することに限界を感じ、このことをきっかけに定款の改正に踏み切って、再度クラブの入会を促しました。

シカゴRCの定款に第3条を加えたのです。第3条、シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民間に広めるといふものです。この3条については、「全く利己的な組織は永続性がない。もしも我々がRCとして生き残り、発展することを望むならば、我々はある種の市民に対する奉仕を含めるように、シカゴ・RCの綱領の拡大を目的としたもの」と語られています。

1909年に市役所と公立図書館の横に公衆トイレが設置されました。「より良い社会のため」を目的とするRCの活動、いわゆる奉仕活動のスタートであり、RCの「社会との接点」の始まりです。

奉仕活動を通して社会との接点を重視してきたRCは、その後社会情勢の変遷を生き残りさらに大きく拡大、発展していきました。一方、組織内の相互扶助、互恵関係のみを重視したグループはその後の社会情勢の中で次第に衰退、消滅していきました。

そしてRCの奉仕活動を資金面で支えてきたのがRC財団です。さらにRC財団の支援プログラムも100年の歴史の中で色々と工夫されました。

その一つが2013年-14年度にスタートした「未来の夢計画」です。「未来の夢計画」の特徴を一言で言えば、奉仕プロジェクトが「RC財団本部主導」から「ロータリアン主義」に変わった点です。ロータリアンが自ら事業を計画し、また自ら事業に寄付金を使えるようになったのです。いわゆる地区補助金、グローバル補助金と呼ばれているものです。より多くのロータリアンが奉仕事業に参加できるよう意図されたものです。イメージで言えば、シカゴの財団本部が主導して、世界全体の活動をカバーしていたものから色々なロータリアン達が独自のアイディアと発想で計画し、実行する構図となりました。そして各ロータリアンからの寄付金は、自ら事業に使えることになりました。非常に大きな変化です。

活動の原資となる財団への寄付について紹介します。昨年度の2760地区の1人あたりの年次寄付額は166.13ドル、ポリオプラスは32.51ドルでした。財団の寄付は計198.64ドル約2万円です。日本の平均寄付額は約197ドル。世界的には、1人あたりアメリカ628ドル、韓国378ドル、台湾436ドル、寄付総額では1位アメリカ、2位韓国、3位インド、4位日本、5位台湾です。

現在地区では、年次基金150ドル、ベネファクター(恒久基金に1,000ドル以上寄付した人)をクラブ1人、ポリオプラス基金に30ドルを目標に呼びかけています。

名古屋瑞穂RCの2020-21年度の財団寄付実績を紹介します。年次基金寄付1人あたり211.23ドル。ポリオプラス基金寄付1人あたり30.87ドル。

次に瑞穂RC認証状況について紹介します。ポールハリスフェロー65人。マルチプルポールハリスフェロー7人。ベネフェクター13人。アーチC.クラブ・ソサエティ該当者なし。メジャードナー高村博三様、近藤雄亮様。ポール・ハリス・ソサエティ高村博三様。

RC財団の基本的なプログラムである地区補助金と、ポリオプラスについて紹介します。瑞穂RCの21-22年度地区補助金は、愛知県立瑞穂高等学校IACにパソコン及び周辺機器を整備するという活動に利用しました。事業総額224,255円の内377,960円が補助金として支給されました。

続いてシェアシステムについてです。本年度の補助金の財源は3年前に頂いた寄付が原資となって、約半年分の資金が地区の補助金事業費として使うことができます。頂いた寄付が多いほど「世界で良いことをしよう」の為に資金が増え、3年後の地区補助金事業が地域の多くの方に役立つことができます。

地区補助金は地元や海外のニーズに取り組む、比較的小規模で短期間のプロジェクトです。地区が一括して申請します。地区ルールとして補助金申請額は、事業総額50%未満(上限100万円)です。

ポリオ根絶の為に、世界中の多くのロータリアンから寄付を頂いています。国際RCがポリオプラス基金に寄付するとビル&メリンダ・ゲイツ財団からその2倍の基金が寄付されます。イスラム教の国では子供達にワクチ

ン投与する為に多くの女性の協力を得ています。RCのポリオ根絶活動は日本と非常に縁が深いです。1978年東京で開催された国際大会で当時のクレヌ・レヌーフ国際RC会長が健康の向上、飢餓の撲滅、人と社会の発展を促進するための新しい補助金プログラム「3Hプログラム」を発表しました。この3Hプログラムによる補助金事業第1号が1976年にフィリピンで行われたポリオワクチンの一斉投与です。600万人の子供達に投与し、その効果が太に評価され1985年の「RCの最優先プログラム」になりました。その後、1988年にWHOやユニセフなどと共に「世界ポリオ根絶推進活動」がスタートしました。当時世界で30万人の子供がポリオを発症しており、ポリオ根絶は夢のまた夢でした。しかしポリオ発祥国は急速に減っていき、昨年ナイジェリアから根絶宣言が出されアフリカからなくなりました。

ここ数年パキスタンとアフガニスタンとの国境沿いが発祥源でした。山岳に住むいくつかの部族は、国境とは無関係に2つの国を従来している事がネックでワクチン投与から漏れてしまっていました。そこでRCは国境沿いにワクチン投与のステーションを設けました。また、ワクチンを冷凍保管して現場に届ける為のコールドチェーンを整備したり、ワクチン投与の大切さを説明して回りました。

昨年と一昨年は中止となってしまいましたが、ワールドふれあいフェスタで集めた資金で保冷库つきのRC移動図書館を寄付しています。一台約80万円です。子供達の学習の機会、とポリオワクチンの有効性の学習そして、保冷库でポリオワクチンの輸送の役に立っています。一人でもポリオ発症者がいれば、日本含め、世界中の子供にワクチンを打たねばなりません。ポリオ根絶まであと少しです。引き続きご協力よろしくお願いします。

RCカードをクラブで作ってRCに関する支払いをRCカードを使うことによってポリオ基金に寄付することができます。20-21年度は1億1500万円支払いに使われ約35万円の寄付をすることができました。例会の運営費や地区大会、国際大会の登録などに利用してください。

世界で良いことをするため皆様からのご理解とご協力が必要です。

身近な会員の話題

今川知也さん

三好カントリー倶楽部 グランドチャンピオン



三好カントリー倶楽部選手権にて、今川知也さんがグランドチャンピオンになり、2年連続優勝を果たしました。おめでとうございます！

例会のご案内

■今週	11月11日(木)	定款により休会
■次週の行事	11月18日(木)	ボジョレーヌーボ例会
時	間	: 17:00～19:00
場	所	: ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
■次々週卓話	11月25日(木)	
テ	ー	マ: コロナ後に経営者が際立つ着こなし術
卓	話	者: 株式会社アルンプラール代表取締役 高田総一郎さん